令和８年度

市政モニターアンケート調査結果
【宿泊税の認知度と活用について】

長　崎　市
観光政策課

１．調査の目的

宿泊税は、市内に宿泊した方から徴収する税金で、訪問客への還元につながる事業に活用しています。

宿泊税について認知度を確認し、今後の周知方法を検討していきます。

また、市民も暮らしやすさが向上するような事業を検討するため、宿泊税の理想的な活用方法について調査を行いました。

２．調査の概要

調査期間：令和８年８月24日　～　令和８年９月４日

送付数　：294人

回答率　：91.8%（270人）

（郵送回答　150人（55.6%）、インターネット回答　120人（44.4%））

３．調査結果

【宿泊税の認知について】

宿泊税の認知について、全体の63.7%が「知っている」と回答しており、宿泊税の認知が着実に広まっていることが分かりました。また、宿泊税を知った経路については、「テレビ」が最も多い31.3%、次いで「宿泊施設」が21.0%となっており、実際に宿泊をされる時の窓口でなく、テレビ等のメディアを通じて事前に情報を取得している方が多いことが分かりました。

【宿泊税の使途に関する意向について】

宿泊税の望まれる使途については、最も多かったのが「観光施設や公園等の整備」、次が「景観や自然環境の保全」と、目に見えるものに活用してほしいと考えている方が多いことが分かりました。一方、「公共交通の充実」や「混雑対策やマナー向上」と回答された方も一定数いることから、観光地の整備だけでなく、日々の過ごしやすさや受入環境の向上を望んでいることが多いことが分かりました。

４．調査結果の見方

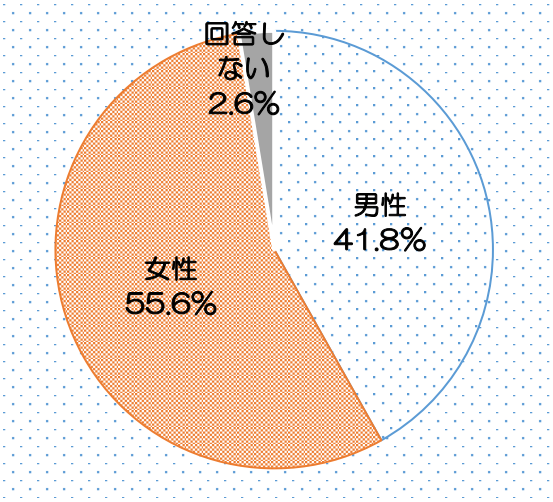
調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第２位を四捨五入して、小数点第１位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N＝〇〇人」で表現しています。

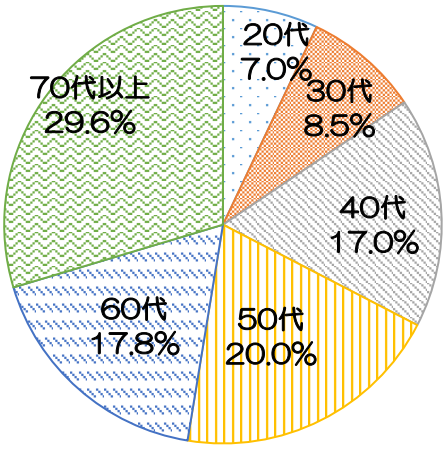
問１　あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	113 人	41.8%
女性	150 人	55.6%
回答しない	7 人	2.6%
合計	270 人	100.0%



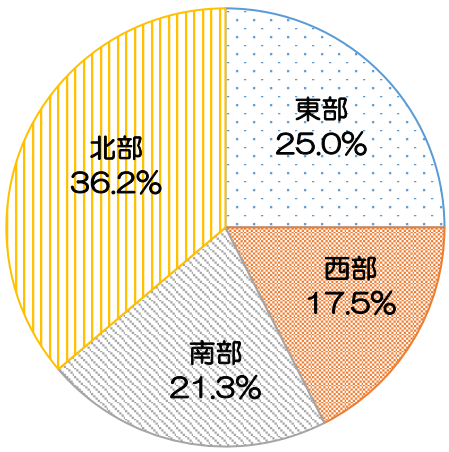
問２　あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20 代	19 人	7.0%
30 代	23 人	8.5%
40 代	46 人	17.0%
50 代	54 人	20.0%
60 代	48 人	17.8%
70 代以上	80 人	29.6%
合計	270 人	99.9%



問３　お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	67 人	25.0%
西部	47 人	17.5%
南部	57 人	21.3%
北部	97 人	36.2%
合計	268 人	100.0%

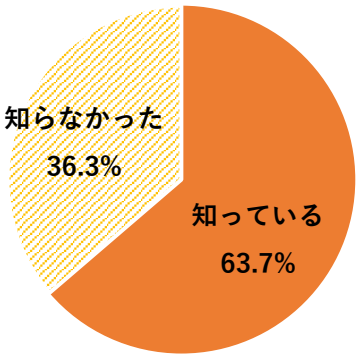


（無回答　２人）

※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問２２　長崎市では、市内の宿泊施設に宿泊したかたから宿泊税を徴収しています。長崎市が宿泊税を徴収していることを知っていましたか。

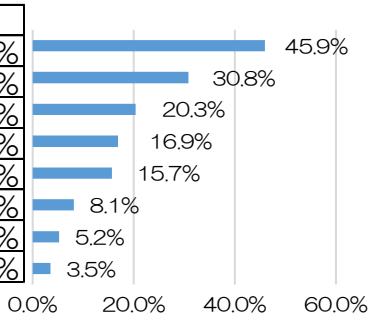
選択肢	回答数	割合
知っている	172	63.7%
知らなかった	98	36.3%
合計	270	100.0%



宿泊税の認知について、全体の 63.7%が「知っている」と回答しており、宿泊税の認知が広まっていることが分かりました。

問２３　「問 22」で「知っている」と回答したかたに質問です。
どのようにして長崎市が宿泊税を徴収していることを知りましたか。
（複数選択可）

選択肢	回答者数	割合
テレビ	79	45.9%
宿泊施設（ホテル・旅館等）	53	30.8%
長崎市ウェブサイト	35	20.3%
新聞	29	16.9%
旅行予約サイト（じゃらん、楽天トラベル等）	27	15.7%
SNS（X、Instagram等）	14	8.1%
その他	9	5.2%
知人・家族から	6	3.5%



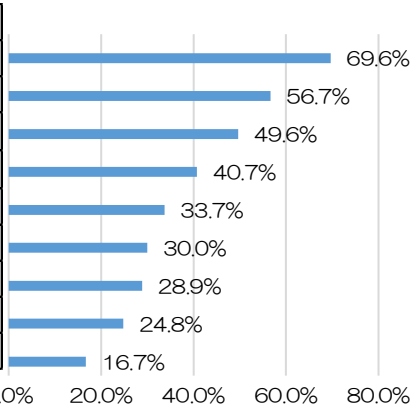
（回答者数 172 人、有効回答数 252、無回答 0 人）

宿泊税を知った経路については、テレビが最も多い 45.9%、次いで宿泊施設で 30.8%で、実際に宿泊をされる時の窓口でなく、テレビで事前に情報を取得しているかたが多いことが分かりました。

問 24　宿泊税は、観光案内の充実、多言語対応案内の充実、観光施設の整備、歴史文化資源の保存活用等、観光客が快適に観光できる環境づくり等に活用しています。

具体的にどのような使われ方が観光客や市民にとって望ましいと思いますか。（複数回答可）

選択肢	回答者数	割合
観光施設や公園等の整備	188	69.6%
景観や自然環境の保全	153	56.7%
歴史・文化資源の保存や活用	134	49.6%
公共交通の充実	110	40.7%
混雑対策やマナー向上	91	33.7%
防災・安全対策	81	30.0%
イベントや観光情報の充実	78	28.9%
誰でも利用できる施設やサービスの充実	67	24.8%
その他	45	16.7%



（回答者数 270 人、有効回答数 947、無回答 0 人）

宿泊税の望まれる使途について、最も多かったのが観光施設や公園等の整備、次が景観や自然環境の保全と、目に見えるものに活用してほしいと考えているかたが多いことが分かりました。一方、公共交通の充実、混雑対策やマナー向上と回答されたかたも一定数いることから、観光地の整備だけでなく、過ごしやすさの向上を望んでいることが多いことが分かりました。